

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

行き過ぎたロッカー点検に抗議する

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3892
18年9月25日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
暑さも彼岸までと言いますが、日中の暑さも和らぎ、朝晩などは肌寒いとさえ感じるようになりました。昼間との温度差が大きい時期です。風邪などで体調を壊さないようにしましょう。

9月19日(水)、郵便部内務事務担当の女性社員とコールセンターの女性社員のロッカー点検が行われた。検査では総務部長(男性)が「今から始めます」と言って総務部課長(女性)と一緒に入室した。大昔ならいざ知らず、最近では男性管理者が立ち会うこともなかったため、いきなり入室され違和感や抵抗感があったと言った。

郵便部女性社員へのロッカー点検での問題点

ロッカー点検には本人同意が前提だが、今回の点検では「本人同意」が前提だが、今回の点検では「点検を始めます」と言っただけで入室・点検を開始しており、本人が同意しなければ点検を実施しないと説明をしていない。また同意を求めてもいない。

なぜ女性のロッカー点検を総務部長が行ったのか
郵便部にも総務部にも女性の役職者がいるが、総務部長がしなければいけなかったのか。

今回の点検方法はセクシャルハラスメントだ
女性の私物には男性には見られたくないものも多いが、今回の点検では部長が見ているテーブル上に私物を広げさせられている。女性特有の私物を男性に見せさせるのはセクシャルハラスメントだと考える。

点検にはプライバシーへの配慮は要らないのか
一度に5人の社員を部屋の中に入れ検査したため、他の社員にも私物が丸見えだった。プライバシーに配慮するなら一人ずつ部屋に入れ点検をするべきだが、局の対応ではプライバシーに配慮する気など微塵も感じられない。

「男性入室は入室禁止とはなっていないので問題ない」、この回答を聞いた女性組合員は、「デリカシイのかけらもない回答で恥ずかしくないのかと憤慨しています。郵政ユニオンは今回のロッカー点検は行き過ぎだと思えますが、皆さんどう思いますか。特に女性社員の皆さん意見・感想をお寄せ下さい。」



せた。更にバックからは財布や書類、化粧品などを入れたポーチや小袋をテーブルに出したあと、課長がバックを開いて中を点検した。その際、部長は机の横にいたため、



部長にも私物は丸見えだった。
ある社員は部長がそばにいて、生理用品の

ケースまで確認され不快だったという。また通帳を持っていった社員は、誰のものかまで確認された「そこまでやるか」と驚いたそう。このやり取りは他の社員にも聞こえ、プライバシーへの配慮はなかったそう。

会社のロッカー点検は、郵便物の隠匿や個人情報隠蔽・搾取などの不正行為を防ぐために行うものだが、今回の点検には左記のように問題が多い。
この為、即日行った郵政ユニオンの申し入れに

対して、長中局は「女子更衣室に於いてのロッカー点検に総務部長と一緒に立ち会った事は事実。」



(中略)
総務部長は社員の点検も勿論だが、課長が定められたロッカー点検を行っているかを同時に検査しているとの回答。女子ロッカー室(休憩室兼)

の男性入室は入室禁止とはなっていないので問題ない」と回答した。
今回の部長の任務は(課長が定められた点検を行っているか)監視するためと同時に、自身が点検するためという事だが、それならば男性である総務部長自らが、ポーチ類の中や着替えなど衣類の間に、郵便物やお客様の個人情報隠していか点検しても問題ないと言っているのと同じだ。